

光市医師会報

平成元年4月号

No. 198



巫 子 舞

光市医師会

平成元年1月分 光市夜間診療患者調査結果

調査医療機関 26カ所

光市立病院	1カ所
市内の医療機関	
私立病院	2カ所
私立診療所（有床・無床）	23ヶ所

夜間診療患者調査

年齢	0 5	6 15	16 29	30 39	40 49	50 59	60 69	70 以上	不明	計
光市立病院	46	52	41	25	23	19	12	25	0	243
市内の医療機関	63	31	54	19	16	19	13	19	8	242
計	109	83	95	44	39	38	25	44	8	485

受診時間帯別患者数

時間	午前 0 2	2 4	4 6	6 8	午後 6 8	8 10	10 12	不明	計
光市立病院	25	9	14	27	73	47	48	0	243
市内の医療機関	7	5	2	10	112	84	13	9	242
計	32	14	16	37	185	131	61	9	485

曜日別患者数

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
光市立病院	52	37	33	24	32	36	29	0	243
市内の医療機関	33	34	51	35	28	20	41	0	242
計	85	71	84	59	60	56	70	0	485

受診患者住所別患者数

	市内	市外	不明	計
光市立病院	216	13	14	243
市内の医療機関	205	36	1	242
計	421	49	15	485

受診患者の新患・旧患別患者数

	新患 (初診)	旧患 (再診)	不明	計
光市立病院	93	150	0	243
市内の医療機関	123	118	1	242
計	216	268	1	485

受診患者の転送の有無

	転送 (有)	転送 (無)	不明	計
光市立病院	0	243	0	243
市内の医療機関	10	427	5	242
計	10	470	5	485

受診患者の主な症状

光市立病院	市内の医療機関
発熱 51件	発熱 91件
喘息 37件	腹痛 16件
(上位2位まで)	

タンゴ・ アルゼンチーノ再び

守友雅彦

2～3日前、新聞芸能欄の「タンゴ・アルゼンチーノ再び」という記事が目にとまった。この「タンゴ・アルゼンチーノ」のCDを聞きながら、この駄文を書いている。

タンゴは、ブエノスアイレスの下町ボカで生れ、人生の哀愁を歌いつづけ、1世紀余の歳月が流れた。最近のタンゴブームを作り出したのが、この「タンゴ・アルゼンチーノ」のショーチームだという。このショーの企画演出は、クローディオ・セゴヴィア、ヘクター・オレゾリの2人のアルゼンチン人である。「いつか、母国アルゼンチンの愛するタンゴを、世界に通用するステージで表現したい」と10年間あたためてきた夢、タンゴの持つ全ての要素、踊り、演奏、歌の魅力をふんだんに盛り込んだショーである。

1983年、パリのシャトレ劇場で「タンゴ・アルゼンチーノ」は幕を開け、連日超満員。パリにタンゴブームの火をつけ、さらにイタリア・オーストリア・ドイツとヨーロッパを征服。85年6月、ニューヨークへ。ブロードウェイのマーク・ヘリンジャー劇場（マイ・フェア・レディ等のヒット・ミュージカルを世に出した由緒ある劇場）での翌年4月までのロングラン、さらに全米・カナダツアー、87年5月にはブロードウェイでの再演、ついに日本公演。

新幹線にて大阪フェスティバルホールへ出かけた。衣裳を含めて全体を黒で統一し無駄のないシンプルなステージより、パン

ドネオンの音が全身に染み込んできた。蛇腹をまるで生き物のようにくねらせつつ、激しい情熱を歌い、語り、むせび泣き、喜び、怒り、切なく、激しく魂に訴えてくる。

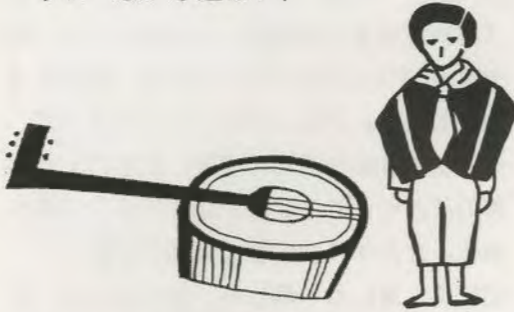
「バンドネオンの嘆き」より始まった。演出家セゴヴィアの「タンゴとは、魂であり神秘である。ブエノスアイレスの人々が、その魂や神秘を奥深く表現したもの」との言のごとく、そこにはアルゼンチンの魂がある。オルケスタの奏でる調べに乗って、切なく、激しく、妖しく、セクシーに、また優雅に踊る。正しく「本物」のタンゴの調べと踊りの2時間でした。レコード・CDと違って生演奏に接し（たまに出かけていくので一層）、感動し、魂が甦り、遠くまで聴きに行ったかいたが満ちたものでした。

たかがタンゴと云うなかれ、好きなものは好きなのだ。娯楽の何もなかった戦後、中学生の頃、雑音のひどいポロラジオで、「中南米音楽」「バレドタイム」「きらめくりズム」「これがタンゴだ」等といったラジオ放送ばかり聴いて、タンゴの虜になってしまった。伯父から借りてきたゲッツイ楽団の「碧空」を、古びた蓄音機で何回も聴いたことを思い出す。「名曲アワー」等のクラシックは、どうもわからず肌に合わなかった。

そういうわけで、聴く音楽はタンゴだけである。車の中でもタンゴだけ。同乗の子供が、ワンパターンといって嫌う。頭痛がするとのたまう。1つの物に固執して譲らないのは、進歩もなく、脳動脈硬化もたいぶ進行している証拠だろうが、好きなものは好きなのだ！

6月の再演が待ち遠しい。

「ラ・クンパルシー」 「淡き光に」 「エル・
チェクロ」 「小雨降る径」 ……………、
ミタンゴよ、永遠に！



平成元年4月1日より、三種混合ワクチン・MMRワクチンが医療機関個別接種となる。

三種混合ワクチン接種に関して

〔接種対象者〕

- 1期終了 3ヵ月～4才未満まで (3回接種)
- 2期終了 5才6ヵ月まで (1回接種)

〔接種間隔〕

- 三混と三混の接種間隔 3週間(21日)～8週間(56日)
- その他の予防接種との間隔 不活化ワクチン(インフルエンザ・日本脳炎)は、1週間以上 生ワクチン(MMR・ポリオ・BCG)は、1ヵ月以上

MMRワクチン接種に関して

〔接種対象者〕

- 1才～6才未満まで(1回接種)

〔他の予防接種との接種間隔〕

- 1ヵ月以上

医師会月間行事

平成元年3月度理事会

3月7日(火) 午後7時30分～

光市医師会館

〔出席者〕

竹中会長、福本副会長、丸岩・富恵・赤崎・近藤・梅田・藤原・吉村各理事

議 題 (報告・協議事項)

- 1) 基金、入会金、福祉等諸規則の検討 (竹中会長)
- 2) 新三種混合ワクチン (麻疹、風疹、おたふくかぜ)について (竹中会長)

4月より医療機関で個別接種了承

- 3) 三種混合個別接種について(竹中会長)

4月より医療機関で個別接種了承

- 4) 新年度の事業計画について(竹中会長)
- 5) 光三師会総会について (福本副会長)

3月25日(土) 武田厚生会館にて

平成元年4月より2年間、医師会が当番会。役員に竹中・福本・藤原・渡辺各先生を選出

- 6) 税制担当理協議会の報告 (梅田理事)

「医業税制早わかり」を全会員に配布

- 7) 夕食会(月例会)について(梅田理事)

3月23日(木)、下松健康パークにて

- 8) その他

イ) 三井小学校校医(河村先生後任の件)

ロ) 学校医手当の件

ハ) 夜間診療の件

ニ) 学校医研修会の報告

ホ) 松本先生退会、河村先生死去にとも

ない休日当直変更の件

へ) 光市健康教育の講師人選の件

平成元年3月度月例会・夕食会

3月23日(木) 午後7時～

下松健康パーク

通達事項

- 1) 山口大学神経内科新設の件
- 2) 病院等の廃棄物処理について
- 3) 昭和63年度生涯教育申告書提出の件
- 4) MMRワクチンの件
- 5) 平成元年光市医師会定期総会は5月におこなう。昭和63年度の会計の集計を4月末日とする。

月例会終了後、夕食会



心電図研究会 (第9回)

下松・光市医師会合同

3月17日(金) 午後7時30分～

光市立病院 講義室

演題 「心電図の読み方」

講師 徳山中央病院 河野隆任先生

〔症例〕

- 1) 59才 男 主訴…息切れ・めまい・胸部圧迫感 河野先生症例
- 2) 46才 男 主訴…左胸部痛 赤崎先生症例

周南地域救急医療対策協議会

3月2日(木) 午後6時30分～

徳山市民館

出席 竹中会長

協議事項

- 1) 昭和62年度周南地域救急医療対策協議会会計歳入歳出決算の認定について
- 2) 平成元年度周南地域救急医療対策協議会会計歳入歳出予算(案)について
- 3) 病院群輪番制病院の利用状況について
- 4) 平成元年度病院群輪番制病院当番日程表(案)について
- 5) 救急医療対策について
- 6) その他

光三師会総会

3月25日(土) 午後6時30分～

武田厚生会館

議 題

- 1) 会計報告
- 2) 監査報告
- 3) 会則改正
- 4) 役員改選

平成元年度より当番会は光市医師会とする。

〔新役員〕

会 長 竹中医

副会長 守田(幽) 宮原(楽)

理 事 福本(医) 藤原(医) 佃(幽) 大戸(楽)

監 事 渡辺(医) 藤本(幽) 松本(楽)

総会終了後、懇親会



光市・県医師会行事等出席

1) 昭和63年度結核医療事業運営協議会
福本副会長出席 3月10日 山口市
ホテルニュータナカ

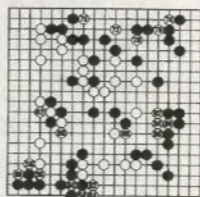
2) 郡市医生涯教育担当理事協議会
赤崎理事出席 3月16日
県医師会館

会員異動(退会)

- 1) 松本憲夫先生
光中央病院→熊本郡呼坂で診療所
- 2) 吉崎美樹先生
光市立病院→長門市斎木病院



夕食会の一コマ



＝ 編集後記 ＝

今年は暖かかった冬のせいでしょうか。桜の開花がだいぶ早かったようです。市内島田市の熊野神社の境内に松浦神社というのがあります。享保の頃当地方で疫病が流行し、その阻止のために建立されたものだそうです。社殿が古くなりいたんできたため修復がおこなわれ、4月1日に完成を祝う神社修復奉祝式典行事がおこなわれました。その時の「舞」の一つが表紙の写真です。昼休みに見物に行ってみましたが、境内の桜は満開で、花の下では宴がたけなわでした。

今月は守友先生に情熱的なタンゴの調べを書いていただきましたが、意外といえは失礼ですが、先生の趣味はもう少し地味なものではないかと思っておりました。

(吉村)



発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社